



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月5日

上場会社名 西尾レントオール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9699 URL http://www.nishio-rent.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 公志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社管理部門管掌 兼 社長室長 (氏名) 四元 一夫 TEL 06 (6251) 7302
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績 (2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	42,706	8.4	5,018	1.1	5,053	4.7	3,079	0.6
2019年9月期第1四半期	39,399	12.8	4,965	7.7	4,826	3.5	3,060	2.4

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 2,729百万円 (△21.5%) 2019年9月期第1四半期 3,474百万円 (7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	110.99	110.91
2019年9月期第1四半期	109.19	109.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	216,428	100,095	44.6
2019年9月期	214,944	99,225	44.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 96,604百万円 2019年9月期 95,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	0.00	—	77.00	77.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	84,180	6.7	10,200	5.2	9,770	3.5	6,140	3.3	221.29
通期	161,830	5.1	16,640	6.3	15,800	5.1	9,900	2.0	356.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	28,391,464株	2019年9月期	28,391,464株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	644,551株	2019年9月期	644,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	27,746,965株	2019年9月期1Q	28,033,443株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年10月1日から2019年12月31日)におけるわが国経済は、世界経済の減速に伴う輸出低迷や自然災害の影響があるものの、企業収益は堅調に推移しており、設備投資も増加基調が持続しました。

建設業界においては、首都圏の再開発工事やオリンピック関連工事が佳境を迎えるなか、全国的にも物流倉庫の新築工事や交通インフラの新設・補修工事等があり、順調に推移しました。また、近年の集中豪雨や台風被害による災害復旧・防災関連工事も進捗しました。

このような状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、国内市場の深耕のため、ICT施工・i-Constructionやインフラメンテナンス、プラント分野ではオリジナル商品・システムの充実や無人店舗を含めたネットワークの強化を、イベント分野ではオリンピック・パラリンピックに向けた営業活動に注力しております。また、東南アジア・オーストラリア市場の更なる拡大、無人化・シェアリングのノウハウを活かした事業インフラの革新にも取り組んでおります。

その結果、連結売上高は42,706百万円(前年同四半期比108.4%)、営業利益5,018百万円(同101.1%)、経常利益5,053百万円(同104.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,079百万円(同100.6%)となりました。また、EBITDAは13,139百万円(同110.2%)と引続き増加となりました。なお、当第1四半期連結累計期間において、台風に伴う影響額として災害による損失169百万円を計上しております。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[レンタル関連事業]

道路・土木関連分野では、各地の交通インフラの新設・補修工事において売上を伸ばした他、災害復旧工事では土木機械や車両、発電機等が活躍しました。ICT施工・i-Constructionにおいては、地元ユーザーの深耕やスポーツ施設整備工事への提案営業が受注拡大につながりました。

建築・設備関連分野では、首都圏の再開発工事や各地の物流倉庫・商業施設等の新築工事への売上が貢献しました。注力するプラント分野は売上を順調に伸ばすなか、今後も続く大型発電所建設工事向けの商品増強や受注活動を進めました。

イベント分野では、各種スポーツ会場やモーターイベント等で観覧席や大型テント等を受注した他、新規導入した4K中継車は祭典やスポーツ中継で売上に貢献し、今後も差別化商品として拡大が期待されます。

その結果、売上高は41,648百万円(前年同四半期比108.8%)、営業利益4,879百万円(同101.9%)となりました。

[その他]

海外製ダンプトラックの販売が売上の下支えとなった他、大型土木現場向けの製造・販売活動に注力しました。

その結果、売上高は1,057百万円(前年同四半期比93.4%)、営業利益115百万円(同61.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、216,428百万円と、対前連結会計年度末比で100.7%、1,483百万円の増加となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の増加2,081百万円、貸与資産の増加1,182百万円及び土地の増加6,794百万円、並びに現金及び預金の減少9,411百万円であります。

負債合計は、116,332百万円と、対前連結会計年度末比で100.5%、613百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加1,162百万円及びリース債務の増加1,870百万円、並びに未払法人税等の減少1,955百万円及び賞与引当金の減少1,133百万円であります。

純資産合計は、100,095百万円と、対前連結会計年度末比で100.9%、869百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に公表しました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,673	22,261
受取手形及び売掛金	42,704	44,785
商品及び製品	2,519	2,536
仕掛品	1,309	1,481
原材料及び貯蔵品	1,202	1,301
その他	8,372	7,795
貸倒引当金	△441	△429
流動資産合計	87,340	79,732
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	72,660	73,842
土地	25,881	32,676
その他(純額)	18,756	20,047
有形固定資産合計	117,298	126,566
無形固定資産		
のれん	3,240	2,991
その他	1,289	1,307
無形固定資産合計	4,530	4,298
投資その他の資産		
その他	6,151	6,179
貸倒引当金	△375	△348
投資その他の資産合計	5,775	5,830
固定資産合計	127,604	136,696
資産合計	214,944	216,428
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,945	24,107
短期借入金	4,467	4,691
1年内返済予定の長期借入金	5,051	3,827
1年内償還予定の社債	466	446
リース債務	11,592	12,162
未払法人税等	3,155	1,200
賞与引当金	2,329	1,196
役員賞与引当金	157	57
災害損失引当金	—	167
その他	21,303	22,151
流動負債合計	71,468	70,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
固定負債		
社債	1,396	1,396
長期借入金	12,828	13,660
リース債務	27,338	28,639
役員退職慰労引当金	221	215
退職給付に係る負債	772	786
資産除去債務	872	892
その他	820	733
固定負債合計	44,250	46,323
負債合計	115,718	116,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	9,559	9,626
利益剰余金	80,520	81,657
自己株式	△1,925	△1,926
株主資本合計	96,254	97,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	221
繰延ヘッジ損益	2	3
為替換算調整勘定	△633	△1,079
その他の包括利益累計額合計	△465	△854
新株予約権	30	30
非支配株主持分	3,406	3,461
純資産合計	99,225	100,095
負債純資産合計	214,944	216,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	39,399	42,706
売上原価	22,649	25,046
売上総利益	16,750	17,659
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	33	11
給料及び賞与	4,155	4,314
賞与引当金繰入額	1,049	1,125
役員賞与引当金繰入額	51	58
退職給付費用	109	134
役員退職慰労引当金繰入額	5	13
その他	6,379	6,982
販売費及び一般管理費合計	11,785	12,640
営業利益	4,965	5,018
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	4	5
受取保険金	40	72
為替差益	—	29
その他	143	180
営業外収益合計	204	302
営業外費用		
支払利息	194	248
為替差損	119	—
その他	28	19
営業外費用合計	343	267
経常利益	4,826	5,053
特別利益		
固定資産売却益	4	2
収用補償金	—	25
特別利益合計	4	27
特別損失		
固定資産除売却損	7	68
災害による損失	—	169
特別損失合計	7	238
税金等調整前四半期純利益	4,823	4,843
法人税、住民税及び事業税	1,202	1,222
法人税等調整額	436	432
法人税等合計	1,639	1,654
四半期純利益	3,184	3,188
非支配株主に帰属する四半期純利益	123	109
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,060	3,079

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,184	3,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	57
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	353	△517
その他の包括利益合計	290	△459
四半期包括利益	3,474	2,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,268	2,684
非支配株主に係る四半期包括利益	205	44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(国際財務報告基準第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間の期首より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	38,266	1,133	39,399	—	39,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	114	125	△125	—
計	38,278	1,247	39,525	△125	39,399
セグメント利益	4,788	188	4,976	△11	4,965

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△11百万円には、セグメント間取引消去△11百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	41,648	1,057	42,706	—	42,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	93	98	△98	—
計	41,652	1,151	42,804	△98	42,706
セグメント利益	4,879	115	4,995	23	5,018

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋳造機の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額23百万円には、セグメント間取引消去23百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。